

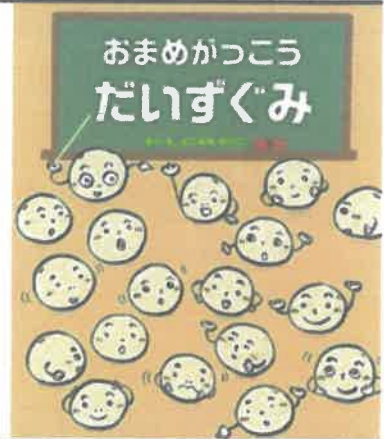


## おまめがっこう だいずぐみ

作・絵 よこみち けいこ

おまめがっこう卒業前、みんなで何の食べ物になるか相談してる姿が池の川幼稚園の子達の姿と重なって可愛いです。ラストみんなで決めたお醤油になって大満足のお豆達。イラストもかわいいです。

(にじ年長・渡部)



## ぎょうざがいなくなり さがしています

令和の「およげたいやきくん」のようなたのしいお話です。  
講談社絵本新人大賞！

(にじ年長・澤入)



## よるのびょういん

1979年出版作品。男の子が盲腸炎で緊急搬送され、一晩病院で過ごす様子が描かれています。  
モノクロの描写が印象的です。

(にじ年中・岩下)



## やきいもするぞ

笑いながら秋を感じられる絵本。  
かわいいおなら、元気なおなら、おどりたくなるおなら。  
いろいろなおならのオンパレード！

(かぜ年中・佐藤)



## オオカミのひみつ

ぶん：きむらゆういち え：田島征三

森のどうぶつからこわがられているオオカミには、みんなに言えない秘密があって、必死にごまかしたりします。オオカミの毛の先までブルブル感がでている絵がピッタリ合っていて怖いオオカミに親近感が湧きます。

(かぜ年長・富田)



# おなまえなあに

みやまつ ともみ

1匹のイワシが海の中をお散歩しながらいろんな生き物に会って名前を聞いていきます。シンプルで分かりやすく、子どもが小さい頃何回も何回も読みました。

(かぜ年中・秋生)



# ノラネコぐんだん パンこうじょう

ノラネコ8匹が夜パン工場に忍び込んでパンを作るお話です。ふくらし粉を入れすぎてばくはつする所が子どもが喜びます。絵もかわいいです。

(かぜ年中・三瓶)



# おこだでませんように

くすのきしげのり作 石井聖岳 絵

子どもには子どもなりの思いや考えがある。そんな当たり前のことに気づかされハッとしました。最近ちょっとイライラしちゃってるなあと感じているお父さん、お母さんに読んでいただきたい子どもとの向き合い方を考えさせられる絵本です。

(かぜ年長・吉井)



# きみが生きる いまのおはなし

ジュリー・モースタッド作 横山和江 訳

時間の経過を色々なものに例えてくれます。時計だけが時間の経過を知るすべてではない!! 同じ時間でも楽しいと短く感じる、時間の不思議を知れます。

(にじ年長・渡部)



# ちょっとだけ

赤ちゃんができて息子に読んだ絵本です。赤ちゃんがおなかにいることで少しやきもちのような感情がめばえたのですが「ちょっとだけ」を読んだら、ちょっとだけ息子の気持ちが楽になった絵本です。お母さんにも読んでほしい作品です。

(ほし年少・横川)



# メメンとモリ

ヨシタケシンスケ

ラテン語のメメント・モリ...いつか死が訪れることを忘れるな。うらを返せば今を楽しめと言うコト。TV東京新美の巨人たちで9月に特集して知った本です。ヨシタケさん談ですが...「この本を読んだお子さんが“メメンとモリ”って絵本のタイトルで先に言葉を知るかもしれないと大きくなって元ネタが分かったときにまた違う読み方をしてもらえないかな、10年後、15年越しの時限爆弾みたいなものを仕込めたら嬉しいな」って

(にじ年中・久保)



# ウェン王子とトラ

チェン・ジャンホン 作・絵

絵の迫力、お話の展開、最後の余韻...大人も引きこまれます。小学校の読み聞かせで読みましたが、先生から「みんな食い入るように見ていましたね」と。選書もほめていただきました。おすすめです!!

(にじ年中・久保)



# ねねねのねこ

文・おおなり修司 / 絵・北村裕花

個人的な好みですが、絵や文、展開がかわいらしく好きな本です。最後の「ねこねぐせひどい」くすっと笑ってしまいます。

(にじ年中・久保)



# のりができるまで

のりができるまで ひさかたチャイルドの科学絵本

のりは身近な食べ物だけれど、どのようにつくられているのか、写真で分かりやすく理解できます。小学校の読み聞かせにもおすすめです。

(にじ年中・久保)



らくごえほん柳家小三治  
落語「死神」より

# しにがみさん

野村たかあき 作・絵

落語の絵本なので、死をあつかいながらも子どもも大人も楽しめるお話です。最後の場面で聞き手(子どもたち)が「は!!」と声を思わず上げてしまう展開!!小学校の読み聞かせにもおすすめです。

(にじ年中・久保)

